



切手 偏見

長寿切手の年輪を読む (2) 国民体育大会切手

長寿切手の中、一番の長寿切手は国民体育大会切手（以後国体切手と略記）である。国土緑化切手の前年に発行され、国土緑化切手のように中断されることなくの発行されている。71年間、162種の切手が発行されている（表1）。第3回が2件5種（夏季大会（水泳）、秋季大会）、第4回が3件7種（冬季大会の2件（スキー・スケート）、夏季大会（水泳）、秋季大会）と他の回にない冬季・夏季大会に切手が4種（図2）発行されて



図1. 最初の国体切手 第2回国体切手 拡大するとハードルの向こうにスタンドに旗まで描かれている



図2. 第3回の夏季、第4回の冬季、夏季国体切手以後、夏季、冬季国体切手としては発行されず

いる。

この3回、4回以外はすべて年1回の発行で、2000年以降はさりと切手として発行されるまでは1989年からの3年を除いては特殊切手として発行されていた。なぜ3年だけさりと切手になったか理由が知りたい。5回以降、年発行種類は1種発行が40年間（1種発行の27年目1993年は2種発行・図3）、2種発行が17



図3. 1種発行の40年間で1年だけ2種発行された48回大会切手（香川県）。夏季大会9月5日開催に合わせて9月3日に発行。秋季大会は10月24日開催

年間と2007年までは落ち着いた発行であった。

また、額面は封書料金で発行が始まり、最近5年も封書料金で発行されているが、はがき料金での発行が55件、8割弱を占めている。

71年間の国体切手の印刷、印刷機関を整理すると1954年から1966年の13年間の26種の切手が凹版、ザンメル凹版で発行され、他の特殊切手には見られない味わい深い切手がみられる。また、凹版に加え48年長期間グラビア印刷が用いられたため、印刷機関が名前は変わっているが印刷局で印刷されており、他の特殊切手シリーズとは異なった発行である。

更に、印面のサイズを整理すると16ページ図6のように27mmを一辺とする長方形が半数を占めているが、かなりバラエティーに富んだサイズの切手であることが判る。中で、図4



図4. 第9回国体切手（初の国体凹版印刷）と第11回国体の凹版切手 大蔵省印刷局製造



図5. 日本のザンメル凹版切手36種のうち16種は国体切手。そのうちの4種（第14、21回国体切手）大蔵省印刷局製造

表 1. 71 年間の国民体育大会切手の一覧

年	大会	種類	発行種	額面	額面対象	印面サイズ 横*縦 mm	印刷	発行枚数 万枚	意匠対象
1947年	第02回大会	特殊切手	4	1.20円	封書	22.5*27	グラビア	200	競技種目
1948年	第03回大会	特殊切手	5	5円	封書	27*22.5	グラビア	1040	競技種目
1949年	第04回大会	特殊切手	7	8円	封書	27*22.5	グラビア	1700	競技種目
1950年	第05回大会	特殊切手	4	8円	封書	22.5*27	グラビア	400	競技種目
1951年	第06回大会	特殊切手	2	2円	はがき	22.5*27	グラビア	400	競技種目
1952年	第07回大会	特殊切手	2	5円	はがき	27*22.5	グラビア	400	競技種目
1953年	第08回大会	特殊切手	2	5円	はがき	27*22.5	凹版	400	競技種目
1954年	第09回大会	特殊切手	2	5円	はがき	27*27	凹版	500	競技種目
1955年	第10回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	凹版	600	競技種目
1956年	第11回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	凹版	800	競技種目
1957年	第12回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	凹版	1200	競技種目
1958年	第13回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	ザンメル凹版	3000	競技種目
1959年	第14回大会	特殊切手	2	5円	はがき	27*23	ザンメル凹版	2000	競技種目
1960年	第15回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	ザンメル凹版	1600	競技種目
1961年	第16回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	ザンメル凹版	1600	競技種目
1962年	第17回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	ザンメル凹版	2000	競技種目
1963年	第18回大会	特殊切手	2	5円	はがき	27*22.5	ザンメル凹版	2800	競技種目
1964年	第19回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	ザンメル凹版	4400	競技種目
1965年	第20回大会	特殊切手	2	5円	はがき	22.5*27	ザンメル凹版	5000	競技種目
1966年	第21回大会	特殊切手	2	7円	はがき	27*22.5	グラビア	3500	競技種目
1967年	第22回大会	特殊切手	1	15円	封書	28*38.5	グラビア	1800	競技種目 花 風景
1968年	第23回大会	特殊切手	1	15円	封書	28*38.5	グラビア	1800	競技種目 花 風景
1969年	第24回大会	特殊切手	1	15円	封書	28*38.5	グラビア	1950	競技種目 花 名所
1970年	第25回大会	特殊切手	1	15円	封書	28*38.5	グラビア	2102	競技種目 花 風景
1971年	第26回大会	特殊切手	1	15円	封書	28*38.5	グラビア	3000	競技種目 花 風景
1972年	第27回大会	特殊切手	1	10円	はがき	28*38.5	グラビア	4500	競技種目 風景・競技場
1973年	第28回大会	特殊切手	1	10円	はがき	28*38.5	グラビア	5000	競技種目 風景・競技場
1974年	第29回大会	特殊切手	1	10円	はがき	28*38.5	グラビア	5000	競技種目 風景
1975年	第30回大会	特殊切手	1	10円	はがき	28*38.5	グラビア	5000	競技種目 競技場
1976年	第31回大会	特殊切手	1	20円	はがき	28*38.5	グラビア	5000	競技種目 競技場
1977年	第32回大会	特殊切手	1	20円	はがき	28*38.5	グラビア	5000	競技種目 風景
1978年	第33回大会	特殊切手	1	20円	はがき	28*38.5	グラビア	4000	競技種目 風景
1979年	第34回大会	特殊切手	1	20円	はがき	28*38.5	グラビア	4000	競技種目 風景
1980年	第35回大会	特殊切手	1	20円	はがき	28*38.5	グラビア	4000	競技種目 風景
1981年	第36回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3600	競技種目 風景
1982年	第37回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3600	競技種目 記念碑
1983年	第38回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3600	競技種目 風景 記念碑
1984年	第39回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3800	競技種目 名所
1985年	第40回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3500	競技種目 風景・競技場
1986年	第41回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3700	競技種目 風景
1987年	第42回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3700	競技種目 名所
1988年	第43回大会	特殊切手	1	40円	はがき	28*38.5	グラビア	3500	競技種目 名所
1989年	第44回大会	ふるさと	1	62円	封書	25*33.5	グラビア	400	競技種目 花 大会マーク
1990年	第45回大会	ふるさと	1	62円	封書	25*33.5	グラビア	650	競技種目 風景 名所
1991年	第46回大会	ふるさと	1	41円	はがき	22.5*27	グラビア	1050	大会マスコット 風景
1992年	第47回大会	特殊切手	1	41円	はがき	22.5*27	グラビア	2000	競技種目 花
1993年	第48回大会	特殊切手	2	41円	はがき	22.5*27	グラビア	3000	競技種目 花
1994年	第49回大会	特殊切手	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	3000	競技種目 花
1995年	第50回大会	特殊切手	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	3000	競技種目 花
1996年	第51回大会	特殊切手	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	3000	競技種目 花
1997年	第52回大会	特殊切手	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	3000	競技種目 大会マスコット
1998年	第53回大会	特殊切手	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	3000	競技種目 花
1999年	第54回大会	特殊切手	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	2700	競技種目 花
2000年	第55回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	630	競技種目 風景
2001年	第56回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア		競技種目 花 競技場
2002年	第57回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア		聖火リレー 名所 競技場
2003年	第58回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア		競技種目 花 風景
2004年	第59回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア		競技種目 競技場
2005年	第60回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	800	競技種目 競技場
2006年	第61回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	350	競技種目 名産品 競技場
2007年	第62回大会	ふるさと	1	50円	はがき	22.5*27	グラビア	800	大会マスコット 花
2008年	第63回大会	ふるさと	4	50円	はがき	36.5*25	オフセット	800	競技種目 名産品
2009年	第64回大会	ふるさと	4	50円	はがき	36.5*25	オフセット	600	競技種目 競技場 大会マーク
2010年	第65回大会	ふるさと	5	50円	はがき	36.5*25	オフセット	600	競技種目 競技場 大会マーク
2011年	第66回大会	ふるさと	5	50円	はがき	31*25	オフセット	600	競技種目 競技場 大会マスコット
2012年	第67回大会	ふるさと	5	50円	はがき	31*25	オフセット	600	競技種目 競技場
2013年	第68回大会	ふるさと	5	80円	封書	31*25	オフセット	600	風景 競技種目 競技場
2014年	第69回大会	ふるさと	10	82円	封書	31*25	オフセット	500	競技種目 花
2015年	第70回大会	ふるさと	10	82円	封書	31*25	オフセット	500	競技種目
2016年	第71回大会	ふるさと	10	82円	封書	31*25	オフセット	500	競技種目
2017年	第72回大会	ふるさと	10	82円	封書	31*25	オフセット	500	競技種目 風景 名所 名産品



H * W mm
発行件数

図6. 国体切手のサイズの比較と各サイズの発行件数

の第9回国体の27mm正方形の切手は他にみられないサイズの正方形切手である。

次に、これらサイズの切手で構成するシートは20枚構成(4×5)がほとんどであるが、第2回から4回国体切手は80枚構成(2回・10×8、3回4回・8×10)と大きなシートで発行され、第3回4回夏季国体は2種のタブ含みで32枚構成(実質30枚構成)のシート、第4回冬季国体は2種とも30枚構成(10×3)で発行されている(図7)。第5回から61回国体切手までは20枚構成シートだが、第6、7回国体切手だけが5×4の構成で発行されている(図8)。63回国体からは10枚構成(2×5)の発行となるが、シート構成切手数は少なくなった



図8. 5×4の20枚構成で2件だけ発行された第7、8回国体切手シート

が発行種は4種類から10種類と多種類発行の国体切手と変化する。この10枚構成シートから同一国体発行でも種類によって発行枚数が異なる切手が63、64回に生まれた(図9)。

更に、65回も加え、1枚購入時には窓口で切手の配置を確認、注意をお願いを要するシートとなっている(図9)。

63回以降の国体切手は上記の変則的な事項以外に後述するような切手の意匠面でも62回までの切手と異なる面を持っている。

切手に描かれた意匠を62回までとそれ以降に分けて整理した(表2)。62回までは例外の2回を除き、すべてに競技種目が描かれており



第2回国体シート10×8

第3回国体シート8×10

第3回国体夏季大会シート7+8+8+7

第3回国体夏季大会シート1行タブ部分と4行目タブ

左 第4回国体冬季大会シート10×3

図7. 初期国民体育大会切手シート

表2. 国体切手に用いられた意匠

2回から62回国体切手		63回から72回国体切手	
競技種目	52	競技種目	52
競技種目 花	16	花	5
競技種目 風景	14	競技場 シンボルマーク	4
競技種目 競技場	5	風景	4
競技種目 名所	4	名産品	2
競技種目 大会マスコット	1	名所	1
大会マスコット 風景 花	2		
種類合計	94	種類合計	68



図10 競技意匠のみの52種の国体切手。グラビア、凹版、ザンメル凹版の順に印刷の変化がわかる国体切手。右は競技意匠がなく、国体を感じない切手



図11 カラーで縁取り、競技意匠のバックに花、風景、名所などを配置した22種の国体切手



図12 左上に花、マスコット、果実を配置した12種の国体切手



図13 上記3タイプに整理できない4種の国体切手

52種は競技種目だけが描かれている(図10)。この他はカラーの縁取り中に開催地の風景、名所をバックに競技種目を配した22種(図11)、左上隅に花、マスコット、果実を配し、競技種目をそれまでと異なり正方形の形描いた12種(図12)、そして他とは異なる4種(図13)が発行されている。

2008年63回以降の10種シートで発行されるようになったからには一つの意匠だけを切手に描き、バック、部分に別の意匠を描くことがなくなった。従って、それまでバック等に描かれていた国体を連想しにくい名所、花、風景、名産品等が競技種目を入れなくて、タブにマスコットを配置するなど62回までと異なる切手発行となってきている(図14)。また、表現方法、



図14 競技種目はなく、タブにはマスコットは配されている。63回以降の国体切手

表3. 切手に描かれた
競技種目の数

競技種目	数
陸上競技	23
体操	13
サッカー	7
バスケット	6
水泳	5
ホッケー	5
ヨット	5
自転車競技	5
野球	5
カヌー	4
バドミントン	4
ハンドボール	4
ラグビー	4
剣道	4
アーチェリー	3
テニス	3
なぎなた	3
バレーボール	3
フェンシング	3
ボート	3
ボクシング	3
レスリング	3
山岳・登山	3
重量挙げ	3
馬術	3
射撃	2
新体操	2
卓球	2
弓道	2
相撲	1
空手	1
柔道	1
ゴルフ	1
トライアスロン	1
フィギアスケート	1
スキージャンプ	1
マスゲーム	1
聖火ランナー	1
マスケット	2
競技場	3
その他	13
総計	162



図15 63回以降にみられる62回までと異なる表現方法の切手

競技場面の切り取り方に従来と異なったものが多く発行されてきている。さらに、競技場面だけでなく競技用品を描いて競技を表現することが始まった。

つぎに、162種の切手の約9割(142種)に描かれている競技種目について整理した(表3)。国体正式種目のうち冬季大会種目(スキー、スケート)が実施環境、実施時期の関係か4回大会以降は切手として発行されていない。冬季オリンピック大会の盛り上がりを見る時、いずれ、フリースタイルスキー、スノーボード、カーリング等が国体競技になることである。

国体切手として冬季大会をどのよう組み入れていくか難しい。

種目ごとの数をどう考えるのかも難しい。陸上競技の中のフィールド競技、体操競技、ヨットなどの数からは絵になる種目が多くなっているのかと感じる。また、一般の人気度からその数に意外さを感じる競技がいくつかある。柔道、空手、相撲がわずか1回しか国体切手にみられ

ないのに、剣道が4回、なぎなたが3回と、国体競技で注目される武道競技で異なっている。特に、なぎなたは70、71回と連続して発行されている。多種目の陸上、体操競技の連続発行は理解できるが、なぎなたと同じく単種目のサッカー、バスケット、ホッケーも最近になり連続発行されている。対して、特定対象者の競技である銃剣道はともかく、レジャー競技人口が2番目に多いボーリングは発行され

てないという偏った発行が気になる。最後に、前回の長寿切手・国土緑化切手で疑問を持った発行年と開催地の表記の点を整理した。国体切手では緑化切手と異なり、いくつかの例外を除き、統一されている。開催地表記はふるさと切手として発行されたものには表記され、特殊切手として発行されたものには表記はない。また、発行年表記は発行当初の5年(1947~51)と1953年には表記がなく、1954年から1977年までは西暦表記、以後、現在まで元号が加わり表記されている。しかし、唯一表記がないものが46回大会切手であり、意匠の意外性から国体切手として残念な切手であり、ふるさと切手の混乱を感じさせる切手である。

今後、行幸行事として継続されるであろう国体と一体で長期発行されるであろう国体切手は対象競技の選択と表現方法は長い視点で慎重に検討されてしかるべきであろう。



柔道 1 相撲 1



剣道 4 なぎなた 3

なぎなた 70、71回と連続

図16. 武道の切手の発行回数



バスケット 70、71、72回大会 Bリーグ開始切手ではないが



サッカー 69、70、71大会

図17 3連続発行の競技切手



図18 国体より先に切手になったボーリング



図19 国体を連想できないデザインと年表記が無い46回切手